新型コロナウイルス感染症後遺症（コロナ後遺症）について

コロナ後遺症とは、「感染確認から3ヶ月以内に発症し、2ヶ月以上続いて他の病気では説明できない症状」を指します。このコロナ後遺症に苦しんでいる方々が多数いること、そして、そうした人たちの多くが、どの医療機関を受診したら良いかわからずに、困っておられることが各種報道で明らかになってきています。

コロナ後遺症はすべての年代において起こる可能性がありますが、特に20代から40代の若年層に多く認められています。その症状は、全身倦怠感、嗅覚／味覚障害、咳、痰、呼吸困難感、労作時息切れ、発熱、抜け毛など実に様々です。また、症状の重い方では、普段の日常生活を送ることや、仕事や学校に行くことができない場合もあります。

コロナ後遺症のくわしいメカニズムは、まだわかっていません。したがって、治療法も現時点では確立しておらず、病気を治すのではなく症状を和らげることを目的とした治療である対症療法が中心となっています。

新型コロナウイルス感染症は、単なる呼吸器疾患ではありません。あらゆる臓器が障害を受ける全身性の疾患です。したがって、コロナ後遺症であるかを調べるためには、まず、新型コロナウイルス感染症以外の病気が体に潜んでいないか全身を調べることが必要です。また、コロナ後遺症が長引く背景に、心理・社会的要因が関係している可能性もあります。

こうしたことから、コロナ後遺症の患者様を診療するにあたっては、「全身を診る視点」と「心身相関（心と身体は繋がっている）」を重視している当科（総合診療科）が役に立つのではないかと考えています。

お困りの症状を、必ず治して差し上げるとは言えませんが、できる限りの治療と支援、そして必要な場合には患者様にとって最適な診療科・医療機関への紹介を行って参ります。

コロナ後遺症が疑われる患者様は、是非一度、当科を受診してみて下さい。

熊本機能病院　総合診療科　宮﨑博喜